

保健体育科

廣瀬 尋理

川口 寿恵

共同研究者 横山 剛士（金沢大学）

1. Society5.0に向けた教育を進めるに当たって

昨年度、本校は「Society5.0を主体的に生きるための資質・能力の育成～STEAM教育を踏まえた教科等横断的プロジェクトの作成を目指して～」の研究主題の下に研究を進めてきた。保健体育科では本校が定める Society5.0 を主体的に生きるための資質・能力の中から、「よりよく生きようとする態度」「対話する力」「論理的思考」の育成をねらい、授業を考えた。今年度も研究主題は変わらないが、学習指導要領と照らし合わせて、保健体育科として本校の研究とどう関わられるか再考したい。

平成 29 年に告示された学習指導要領には、保健体育科の目標である「生涯にわたって心身の健康を保持増進し豊かなスポーツライフを実現する」ために3つの資質・能力を育成することを目指すと示されている。まずはこの目標と3つの資質・能力の育成を意識しながら、どのように研究主題に迫れるかを考えていきたい。3つの資質・能力のうち、特に「生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度」を育てることは、社会的な諸課題である健康問題や高齢化社会への解決へもつながると考えている。また、健康の保持増進や体力向上をねらうことは、本校の学校教育目標の目指す生徒像でもある「心身ともにたくましい生徒」とも合致する。

本校保健体育科としては、健康や生涯スポーツを通じた豊かなスポーツライフを目指すという学習指導要領に示されている目標を目指しながら、そこに向かう過程で本校が定める Society5.0 を主体的に生きるための資質・能力を生徒に身に付けさせたいと考えている。また副題にもある教科横断的プロジェクトにも昨年以上に力を入れ、取り組んでいきたい。

2. 資質・能力の育成に当たって

(1) 教科等として育成する資質・能力について

本校が定める Society5.0 を主体的に生きるための資質・能力のうち、本校保健体育科としては今年度も「より良く生きようとする態度」「対話する力」「論理的思考」を特に育成したいと考えている。

「より良く生きようとする態度」については、体育分野のダンスの授業では、自分の生き立ちである過去から現在、そして未来までのストーリーを考え、それを体で表現する授業を行う。また、保健分野では、性や生命の誕生についての知識を学ぶだけでなく、学んだ知識を自分の生き立ちに当てはめながら、振り返ったり、これからの将来の生き方について考えさせたりしたい。

「対話する力」「論理的思考」においては、体育分野の授業の中で作戦を立てる場面で、相手の考えを聞いたり、グループの意見をまとめる際に論理的思考を求められたりする。そのような活動の中で上記の資質・能力を育てていきたい。

(2) 関連・連携を図った教科等について

保健体育科では2つの教科横断的なプロジェクトを考えた。

1年「体で表現する～命～」

近年、子どもたちへの様々な調査・回答の中で、日本は他国の子どもたちに比べて、自己存在感や自己有用感が非常に低いという結果が問題視されている。また、人の命をぞんざいな扱いをするような痛ましい事件や事故のニュースが後を絶たない。今年度は、保健分野の授業で性や生命の誕生について学び、次に学校保健と関連した助産師さんの講義を通して、命の尊さを身近に感じさせ、自分の生き立ちについて振り返らせた。また、活動の共通のテーマとして「命」をキーワードにしながら、自分自身の過去から現在までを分析した。そして未来を見据えることで、将来への希望を持てるように助言しつつ、体育分野で自分のストーリーをダンスで表現する活動を行わせた。自分の生き方を評価・分析する中で、「より良く生きようとする態度」を養うよう心掛けてきた。また、演じる際には自分のイメージするストーリーを事前に級友に伝えることで、級友の感想や助言を自分の思い描く世界観に付け加えることを心掛けるよう伝えた。様々な意見交換を行うことで、「対話する力」の育成にもつながると考え実践してきた。

2年「ゲーム分析をして、論理的な作戦を考えよう」

球技の授業で、試合などで作戦を考える場面を設け、生徒の思考力、判断力、表現力を養うことを意図した場面がある。生徒はそこで、様々な思考をめぐらし、作戦を立てるが、その作戦のほとんどは論理的なものではなく、これまでの経験や、感覚的なものを理由に作戦を立てることが多い。例えば、「Aくんが上手だからAくんをマークしよう」とか、「Bくんがたくさん点数をとっているからBくんをマークしよう」というものである。一見、上記の作戦は良いように思われるが、「Aくんの上手とは何をもって上手というのかが明らかではないし、Bくんだって例えば10点取るのに、10回ミスをしていた場合それをマークする必要があるのか」など、議論の余地はある。また、上記のような作戦だと効果の検証（ふりかえり）も曖昧になりがちであるという問題点もある。さらに、このような作戦の立て方だと、最後は一部の技能が優れた者が一方的に作戦を立てることも少なくはない。

そこに数学科の確率や期待値などの考え方を入れ、論理的に作戦を立てることを授業で行いたい。そうすることで上手な人は何がどれくらいできることが上手であるということも言えるし、もし10点とるのに、10回ミスする人と、5点しか取らないけれどミスは1回しかしない人では、どちらをマークすべきかということも論理的に考えることができる。さらに、このように多面的に分析する力があれば、技能が高い、低いに関係なく同等な立場で作戦を提案し、決定することが期待できる。このような活動の中で「対話する力」「論理的思考」の育成をねらい実践した。

昨年も同様の実践を行ったが課題としては、多くのチームはシュート確率や期待値だけを追って結果的に偏った作戦になっていたように感じた。バスケットボールは多くの点数を取ったチームが勝つことから、たとえ低い確率のシュートだとしても、リバウンドをとってシュート本数を増やすことを考えることも論理的な作戦といえる。そのような視点から今年度はシュート確率だけに拘らず、どうしたら勝つことができるのか、生徒に考えさせるよう実践をした。

1年 単元名「ダンス：創作ダンス」プロジェクト名「体で表現する～命～」

単元計画（12時間扱い）本時は11時間目

次	時	学習内容・ねらい（■） 主な活動等（丸数字）	評価規準（○）3観点【 】	本校が定める Society5.0 を主体的に生きるための 資質・能力
1	1	<p>■思春期には、どのような体の変化が起こるか。【保健】</p> <p>①ホルモンの働きと思春期の体の特徴について理解する。</p> <p>②女子の生殖器の名称について理解し、初経や月経には個人差があることを理解する。</p>	<p>○性ホルモンの働きによって卵子が成熟して排卵が起こったり、月経が起こったりすることを理解している。【知】</p> <p>○学習に積極的に参加しようとしている【態】</p>	
	2	<p>■新しい命を生み出せる体に成長することを理解しよう。【保健】</p> <p>①男子の生殖器の名称について理解し、精通が起こる時期には個人差があることを理解する。</p> <p>②お互いの性について理解し今後どのような態度を持つ必要があるか理解する。</p>	<p>○精子の生成と射精のしくみ、妊娠のしくみについて理解した内容をワークシートに理解しておく。【知】</p>	
	3	<p>■あなたの大切な生と性を考えよう。【学校保健】</p> <p>①生命の誕生について、科学的に理解し、かけがえのない命について考える。</p>	<p>○生命誕生の神秘的なしくみを科学的にとらえ、自他の生命の尊さなどを理解している。【知】</p>	
2	4	<p>■基本の動きを知ろう。（1）</p> <p>①「感情」の表現の仕方を確認する。</p>	<p>○表したい「感情」にふさわしいイメージや特徴を捉えた表現の仕方を見付けている【思】</p>	
	5	<p>■基本の動きを知ろう。（2）</p> <p>①「動き」の表現の仕方を確認する。</p>	<p>○表したい「動き」にふさわしいイメージや特徴をとらえた表現の仕方を見付けている【思】</p>	
3	6	<p>■自己のストーリーに合った表現を考えよう。（1）</p> <p>①イメージを捉えた表現を考える。</p> <p>②はじめ・なか・おわりのひと流れの動きを考える。</p>	<p>○一番表現したい中心の場面をひと流れで表現できるように、はじめ・なか・おわりのまとまりで動きを見付けている。【思】</p>	
	7	<p>■自己のストーリーに合った表現を考えよう。（2）</p> <p>①イメージを捉えた表現を考える。</p>	<p>○表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方を見付けている。【思】</p>	
	8	<p>■自己のストーリーに合った表現を考えよう。（3）</p> <p>①イメージを捉えた表現を考え、動きにつなげる。</p>	<p>↓</p>	

	時	学習内容・ねらい (■) 主な活動等 (丸数字)	評価規準・手立て (○)	本校が定める Society5.0 を主体的に生きるための 資質・能力
3	9	<p>■自己のストーリーに合った表現を考えよう。(4)</p> <p>①イメージを捉えた表現を考え、動きにつなげる。</p> <p>②ダンスに合わせた最初と最後のポーズを決め、ダンスを完成する。</p> <p>③成果や改善すべきポイントをお互いにアドバイスし合う。</p>	<p>○表したいテーマにふさわしいイメージや、踊りの特徴を捉えた表現の仕方ができる。【知】</p>	<p>「対話する力」</p> <p>「よりよく生きようとする態度」</p>
	10 ～ 11 本 時	<p>■自己のテーマとカテゴリーに合った表現をしよう。</p> <p>①創作ダンスを発表する。</p> <p>②「テーマ」から「カテゴリー」を予想しながら参観する。</p>	<p>○自己の生き立ちについてのストーリーを「はじめ・なか・おわり」にまとめて踊ることができる。【知】</p>	<p>「対話する力」</p> <p>「よりよく生きようとする態度」</p>
4	12	<p>■発表会の振り返りをしよう。</p> <p>①個々で自分のテーマに合ったダンスを伝えることができたか振り返る。</p> <p>②互いのダンスの表現について評価し合う。</p>	<p>○創作ダンスの振り返り、今後の生活に生かそうとしている。【態】</p>	<p>「対話する力」</p>

実践事例

教科名「保健体育科」・学年「1年」

授業者	川口 寿恵	授業クラス	1年1組～2組
プロジェクト名		教科等横断を図る教科等名と内容	
体で表現する～命～		学校保健「生命の誕生」	
Society5.0を主体的に生きるための資質・能力		教科等で身に付けたい資質・能力	
「対話する力」 「より良く生きようとする態度」		自己の生き立ちについてのストーリーを「はじめ・なか・おわり」にまとめて踊ることができる。 【知識・技能】	
STEAM教育の視点			
<p>今年度は「命」というテーマを掲げ生命について学び考えを深め表現させる活動を行ってきた。最初に、保健分野では性を通して人権を尊重しなければならない事について学んだ。次に、学校保健と連携し命の尊さについて学んだ。そのうえで、自己の生き立ちについて調べて、学んだ知識を自分の生き立ちに当てはめながら考えさせた。そのストーリーを創作ダンスという形で表現させる活動を行ってきた。本時は、創作ダンスで表現することで「より良く生きようとする態度」を育成し、次時の授業で参観者が個々のカテゴリーを予想し意見交換することで「対話する力」を身に付けさせたいと考えている。生徒一人ひとりの自己肯定感を高められるような支援をおこなっていきたい。</p>			
本時の授業のねらい			
自己のストーリーにふさわしいイメージを捉えた表現になるように発表しよう。			
授業の流れ・活動等			時間
1. 前時までの確認をする。 ※自己の創作したダンスの動きを確認する。			3
2. 本時の課題の確認をする。 「自己のストーリーのイメージを捉えてははじめ・なか・おわりにまとめて踊ろう」			3
3. 自己で練習する。			5
4. 創作ダンスを発表する。 ※発表を見ている生徒は、見る側の視点として発表者のテーマから予想されるカテゴリーとストーリーを予想する。			36
5. 振り返りとまとめを行う。			3

2年 単元名「球技・バスケットボール」プロジェクト名「ゲーム分析をして、論理的な作戦を考えよう」

単元計画（10時間扱い）本時は8時間目

次	時	学習内容・ねらい（■） 主な活動等（丸数字）	評価規準（○）3観点【 】 指導上の留意点（・）	本校が定める Society5.0 を主体的に生きるための 資質・能力
1	1	■3x3の学習の仕方を確認しよう。 ①授業の注意事項や安全面の確認をする。 ②既習事項（シュート、ハンドリング）の確認をする。	○学習に積極的に取り組もう としている。【態】	
2	2	■3x3を知ろう。 ①ルールの確認をする。 ②試しのゲームをする。	○試合の行い方やルールを理 解している。【知】	
	3	■空間を作り、走りこむ動きをしよう。 ①自チームで空間を作る動きの確認をする。 ②自チームで空間に走りこむ動きの確認をす る。	○ゴール前への侵入のための 空間作りや動きができる。 【知】	
3	4	■試合を通じて、ルールや審判法を確認しよ う。 ①ルールと審判法の確認をする。 ②クラス内の試合を行う。	○試合のルールや審判法を理 解している。【知】	
	5	■自チームのゲーム分析をして、自チームの特 徴を知ろう。 ①試合を行い、自チームのシュートエリア別確 率を確認し、振り返りをする。	○話し合い場面で合意を形成す るために適切な関わり方を見 付けている。【思】	「論理的思考」 「対話する力」
	6	■自チームの特徴を意識した攻撃をしよう。	○試合の中で安定したボール 操作ができる。【知】	
	7	①クラス内のリーグ戦を行う。		
	8	■試合を分析し、作戦を立てゲームに生かそ う。 ①試合後に自チームのシュートを確認し、その 後相手チームのシュートを確認し作戦を考 える。 ②再度同じチームと試合を行う。 ③振り返りをする。	・それぞれの役割が明確になる よう支援する。 ○自己チームや相手チームの 特徴を踏まえた作戦を選ん でいる。【思】	「論理的思考」 「対話する力」
9	■試合データから、考えた作戦で試合を楽しも う。 ①全チーム総当たりのリーグ戦を行う。 ②振り返りとまとめをする。	○マナーを守り、フェアプレイ を大切にしようとしている。 【態】		
10				

実践事例

教科名「保健体育」・学年「2年」

授業者	廣瀬 尋理	授業クラス	2年1組～4組
プロジェクト名		教科等横断を図る教科等名と内容	
ゲームを分析して、論理的な作戦を考えよう		数学科「確率」	
Society5.0を主体的に生きるための資質・能力		教科等で身に付けたい資質・能力	
「論理的思考」 「対話する力」		自己チームや相手チームの特徴を踏まえた作戦を選んでいる。 【思考・判断・表現】	
STEAM教育の視点			
<p>3人制バスケットボールである3x3（スリーエックススリー）の試合を行った上で、作戦を立てる。記憶や感覚的なところに頼るのではなく、数学の確率、期待値などを使って、論理的に作戦を立てる。このことを通して、論理的思考や、作戦を立てる中で対話する力も養いたい。この活動を通して、球技の目まぐるしく起こる現象を数値化することで、論理的に作戦を立てることはもちろん、今後試合を見る上で、ゲームを見る視点が深まることもねらっている。</p>			
本時の授業のねらい			
試合を分析し、作戦を立ててゲームに生かそう。			
授業の流れ・活動等			時間
1. 前時までの確認をする。 ※リーグ戦の試合を振り返る。			2
2. 本時の課題の確認をする。 試合を分析し、作戦を立てゲームに生かそう。			3
3. 前回の反省を生かし、各チームで練習をする。			5
4. 試合を行う。自チームのシュートを記録していく。			10
5. 自チームのシュート記録と相手チームのシュート記録から作戦を考える。 ※自チームのどんなことに着目したのか、相手チームのどんなことに着目したのか、作戦の根拠を明確にさせる。			10
6. 再度同じチームと試合を行う。			10
7. 振り返りとまとめを行う。			10